

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 9月26日 愛知県民登山教室①猿投山 <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

木曾駒ヶ岳(中岳)方面から宝剣岳
 ーあちこち残雪のある千畳敷カールは登山者で賑わい木曾駒ヶ岳
 を目指す。山頂では静かに噴煙を上げる御嶽山が望まれたー

PHOTO 中平等新一



平成27年度指導員総会開く

事業活動報告と今後の方針
 指導員の資格状況の掌握など

平成27年度指導員総会が、
 6月23日(火)午後7時30分
 から県スポーツ会館で行なわれ
 ました。

- まず、木田委員長が挨拶を
 して進行役となり、次のとお
 り26年度の事業報告があった。
- ・5月18日 読図講習会Ⅱ大
 高緑地(一般37名、指導員
 4名)
- ・5月19日 第1回勉強会Ⅱ
 県スポ(10名)
- ・5月27日 第1回勉強会Ⅱ
 東三(16名)
- ・6月7日 8日 日山協指導
 員総会Ⅱ東京(木田委員長)
- ・6月14日 15日 確保技術講
 習会Ⅱ鞍ヶ池公園(一般26
 名、指導員8名)
- ・6月23日 指導員総会Ⅱ県
 スポ(14名、委任状30名)
- ・10月7日 第2回勉強会Ⅱ
 県スポ(8名)
- ・10月14日 第2回勉強会Ⅱ
 東三(4名)
- ・10月24日 25日 救助技術講
 習会Ⅱ鞍ヶ池公園(一般15
 名、指導員11名)
- ・1月13日 指導員集会Ⅱ東
 三(5名)

1月20日 指導員集会Ⅱ県
 スポ(8名)
 ・2月10日 第3回勉強会Ⅱ
 東三(12名)
 ・2月17日 第3回勉強会Ⅱ
 県スポ(22名)
 ・2月28日 3月1日 冬山
 技術講習会Ⅱ大日ヶ岳(一
 般15名、指導員7名)
 以上の通り報告があり、つ
 づいて26年度の会計報告がさ
 れ、いづれも承認された。そ
 して愛知岳連の事業計画、日
 山協指導員総会の説明があっ
 た。また、愛知岳連指導員の
 資格状況についての説明がさ
 れた。

その他の項目として、他県
 より指導員養成講座について
 その指導方法について修得し
 たいとの依頼があること等が
 述べられた。

最後に、名誉指導員の規定
 はどうなっているのか。総会
 の他に集会を2回設けている
 が、必要がないのでは。指
 導員のための指導要領につ
 いて、研修会を定期的に行っ
 たかどうか。などが話し合われ
 今後の課題とした。

第1回気象講習会

講師に田辺先生を迎え 26人が受講

第1回の気象講習会が6月14日、愛知県スポーツ会館で行なわれました。講師に高体連OBの田辺元祥先生を迎え、気象通報の聞き取り方や天気図の作成方法、季節の特徴ある天気や予報知識などの講習を受けました。参加者は、山岳会から5人と高校生が21人の26人でした。

次回、第2回の気象講習会は9月6日に豊川高等学校にて開催される予定です。

(岩狭 満)

気象講習会を受講して

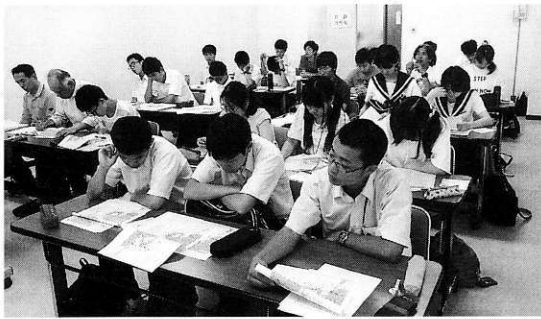
やまびこ山想会
三嶋 信

以前、剣沢と葉師の太郎平のテント泊で台風のような暴風雨にあつて苦労したことがあつた。別に天気図に台風がある訳でもない。何故こんな天気になったのか？以前から気象について一度勉強したいと思つていました。「気象講習会」の案内を聞きすぐに

申込みました。

午前中は天気図の書き方、午後には天気図の見方と山の天気について、天気図の書き方の説明と一緒に基礎的な気象の話がありました。そうか、低気圧から東に伸びるのが温暖前線、西に伸びるのが寒冷前線か！基礎的なことを全く知らなかったことに気が付きました。二つ玉低気圧の話も面白かった。

これを機会に、ただ天気予報を見るだけでなく、天気図を見て今後の天気が予測できるように、更に知識を深めていきたいと思ひます。



平成27年度理事

伊藤智彦(高体連) 木田光彦(アイシン精機) 水野史朗(イノアック) 永田昌美(岡崎山岳会) 岩瀬幹生(蒲郡山の会) 豊田豊美(春日井山岳会) 加藤和美(嶺山岳会) 織田善夫(中京山岳会) 伊藤敦彦(中央アルパイン) 斎藤健一郎(トヨタ自動車) 井樋哲也(豊田自動織機) 森田金明(豊田山岳会) 白井良岳(豊川山岳会) 小林孝誌(DAC) 水野起己(東海電々) 久保田正紀(名古屋山岳会) 鬼頭健一(名古屋山岳会)

山の会) 安島正交(名古屋白熊山岳会) 井口朋美(NGH) 石原博之(名古屋溪稜会) 杉本三郎(名古屋テックテク山岳会) 森辰夫(名古屋登稜会) 荻須昭大(RCC) 神戸和広(デンソー) 山下利明(プラザ工業) 島航太郎(碧稜山岳会) 木村行宏(三菱電機名菱会) 畠山大樹(三菱重工名古屋大江) 佐藤春彦(三菱重工名誘) 市川義行(JAC) 田中芳晴(名古屋這い松山岳会) 十倉崇行(愛知県庁) 野間修(安城こもれび会) 中山秀樹(豊橋山岳会) 岡崎亮太(名古屋AAC) 青木清隆(名古屋

FM) 有馬一夫(愛知山岳会) 鈴木清彦(愛知学院大) 浅井慎平(愛知医科大) 羽田明史(GSA) 原田泰輔(千種アルパイン) 水野保夫(MMC岡崎) 野口和人(犬山山岳会) 内藤善一(やまびこ山想会) 清水敏春(名古屋山桂会) 山田義清(山歩の会) 片田保彦(岩倉山岳会) 西山秀夫(東海白樺山岳会) 榎村謙(銀嶺山友会) 中村久(名古屋愛山会) 辻雅彦(FRC) 酒井彰彦(三河くらぶ) 渡邊正輝(チーム猫屋敷) 青山洋一(まつたり山楽会)

東海四県正副会長理事長会議

遭難事故防止や自然保護活動報告 「山の日制定」記念事業について

平成27年度東海四県正副会長理事長会議が、5月23、24日三重県のニューハートピア温泉で開かれました。各県から14名が出席し、愛知県から安藤会長と北村理事長が出席しました。

各県の活動状況は以下のとおりです。
〔静岡〕個人会員制度の導入を始めた。パンフレットを作り、常念岳に登るのをスローガン(最終講習会)に、座学から実践登山に向けての講習会を4回セットで実施。この中で個人会員、各会への入会者の発掘につなげていく。また、富士山における遭難事故防止と自然環境保全のための

ガイドラインの制度について説明があった。
〔岐阜〕自然保護は自然観察会のような企画はしておらず夜又ヶ池のヤシヤゲンゴロウの保護や腕章をつけての登山者の指導をしている。登山届の提出条例についての説明、会長による遭難事故に対するスライド説明があった。
〔三重〕自然保護委員会の活動報告と遭難対策委員会の報告。自然保護は各会ごとに活動をし、岳連が取りまとめる。また、遭難事故については昨年は30数件の事故があり、救助活動について岳連が積極的に活動しており、この活動を

きっかけに人の輪も広がっている。

愛知県は、今年度の事業計画をもとに北村理事長が説明をした。

その他の議題として、①日山協から「山の日制定」記念事業として、各ブロックで行事をしてほしいとの依頼があり、東海ブロックは各県で行事を企画し、亀井理事を通して申請することになった。(各県5万円補助) ②日山協広報委員会から「ふるさとの

確保技術講習会・検定会

懸垂と自己脱出などの反復 宿泊先で貴重な意見交換!

6月20、21日確保技術講習会・検定会が、豊田市・鞍ヶ池公園に於て、受講者23人、指導員9人が参加して行われた。

縦走コースの3人は20日のみで、ツエルトビパークの方法、登り下りの歩き方とスリードコントロール、岩場のトラバースのコツ、ロープワークなど基礎的な実技を行った。

また、岩の初・中級ではアンカーの取り方、流動分散、確保体制からの脱出、懸垂降

山」に登ろうをテーマに各県の山の紹介(子供に登ってもいい山など、山の遺産)について原稿を募集されておりました。愛知県は来年1月号掲載予定で、10月までに原稿、写真を提出する。③指導員の研修会を各県横通しで実施したい。しないと開催できないとの話があり、日山協の指導員総会等でブロック内の意見を横通してもらおうことになった。(安藤武典)



下、登り返し等を主に行った。一日目は3時30分に終え、

印象に残った私の登山

3

ジャンル別の思い出

中央アルパインクラブ

伊藤 敦彦

印象に残った私の登山と聞かれて、困ってしまった。何故なら、其々の山の個性を楽しみ、それぞれの思い出がある。ジャンル分けして、纏めてみた。

- ▽ピークハント⇨利尻岳・鬼脇から杓形へ下山した。海拔0mから登る魅力を堪能し、高度を上げて行くと、笹の中に見渡す限りの日本海が続いていた。青く綺麗だった。
- ▽縦走⇨冬の西穂高から奥穂高⇨まだ駆け出しの頃、先輩に連れて行ってお願ひし縦走できた。緊張感で余裕はなかったが、すべてを助けられ、実現出来た感謝の山行でもあった。
- ▽岩登り⇨谷川岳一の倉沢南稜⇨仰ぎ見る一の倉は、畏怖を感じる。テールリッジを登って行くと、圧倒的な岩の御殿に心が吸い込まれていく。南稜を登る頃は、岩場と一心同体になっていた。
- ▽沢登り⇨立会合本流⇨何と言っても、奇妙な滝の連続である。遡る人を虜にします。その先に何があるかが楽しかった。
- ▽雪山⇨雄山東尾根⇨まだ関電トンネルを歩いた時代だった。人里離れた奥深い山中にいる事が嬉しかった。
- ▽秘境⇨知床岬⇨羅臼側より海岸沿いを走破した。山と違い海が怖かった。近くに国後島を見ながら、海に流れ込む直前の沢の水を飲む事ができる。手付かずの自然の素晴らしさを感じた。北方領土が返還されたら楽しいだろうな。
- ▽達成感⇨戸隠本院ダイレク⇨総合力が必要な山である。岩・雪壁・垂直のブツシユ・きのこ雪・雪稜などが混在していて、行きつ戻りつ、ルートファインディングが面白い。僅かな距離も意外と時間を費やしてしまう。何時もは、張網の支点になるだけのスノーバードも、今回は大活躍であった。山行を終えた時は、夢が叶い満足だった。
- ▽単独⇨槍ヶ岳北鎌尾根⇨寂しいが、相棒いなくて単独だった。好天にも恵まれ、調子良く進んだ。水俣川の3回の渡渉と槍直下が核心部だったか。

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルスス

〒450-0002 名古屋市 中村区 名駅4-4-10 名古屋クロスコートタワー 1F TEL 052-565-1417

Renopoint

http://www.renpoint.jp

Original Wear & Goods

オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載) カジュアルユニフォーム&グッズ デザイン・企画・制作 お気軽にお問合せ下さい。

特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)

株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renpoint.jp



その後宿泊先の龍溪院で17人で反省及び親懇を計り、意見交換もあつて有意義なひと時を過ごした。

二日目は生憎の雨降りになつたが、ドームの下で懸垂降下のやり方、また実際に斜面を使つての練習をやり、基礎をしっかりと繰り返し返して終了した。

講習会に参加して

納得のロープワーク

豊川山岳会

山形 岳

二日間に渡つてみっちりロープワークを教わり、非常に勉強になった。早く実戦で使いたいという気持ちが出てきたがじっくりと反復練習して体に染み込ませたい。アンカー構築においてはシートベルト方式を教わり、自分の幅が広がった。この方式は衝撃を吸収しやすい素材で出来ているメインロープで構築できることがメリットである。その他、自己脱出や懸垂下降にしても「なぜこのシステムを使うのか、なぜこのロープワークを行うのか？」という理由を交えながらの説明だったので腹に落ちやすかつた。二日目は生憎の雨だつたが

荷重をかけながらの練習もすることが出来た。今後毎年、夜の懇親会も含めて出来るだけ参加していきたいと思つた。本当に二日間ありがとうございました。

実りある講習

デンソー山岳部 神戸 和広

愛知岳連行事は昨年から読図講習に始まり気象講習、冬山講習と受講し、今回は一番苦手を確保講習でした。結びの基本を理解でき

てないので、事前勉強会にも参加しましたが、やはり頭が飽和状態になつてしまい、不安を抱えたまま受講の日を迎えました。やはり自分が理解できてない結びの段になるとそれに囚われてしまい、なぜそこでその結びをするのかという基本が理解できないまま、順番だけ覚える態になりました。とはいえず写真は撮り復習に備えました。何とか一日目の講習を終え宿泊場所の龍溪院へ。明るい内から飲み始め、一緒に講習を受けた方や常任理事の方たちから現在の会での取り組みや過去の武勇伝を伺い、刺激を受けた貴重な時間でした。加えて蜜鑑



賞会も良かったですね。二日目は自己脱出を実際に滑落した人の重みを受け実践しました。これが全く移動できないほどで、最初の支点位置の重要性が良く分かりました。最後に植物園の裏手の斜面で懸垂と自己脱出の復習。今回は自分が身に付けなくてはいけない事が身にしました。講師をして下さった指導員の方々に感謝申し上げます。会に戻つて教えられるように何度も復習したいと思います。

自然保護委員会

清掃登山や講演会予定

愛知岳連自然保護委員会が去る6月9日(火)19時より、県スポーツ会館で行われました。

まず、報告事項として第36回自然観察会が、4月29日に木曾福島の城山で、23人が参加して植物観察が行なわれました。

つづいて審議事項は、①第39回自然保護委員総会が、9月12日(土)13日(日)に

福島県の磐梯青少年交流の家で実施されることになり、鈴木行薫、杉本三郎、青木周子の三人が出席の予定です。

②第37回自然観察会を段戸裏谷原生林で11月3日(祝)9時より行ないます。

③平成28年度の自然保護委員会の行事予定は、5月28日(土)清掃登山を宮路山、五井山(豊川市・蒲郡)で実施。6月に自然保護講演会「ライチョウの生態について」を開く予定です。

(出席者) 鈴木行薫、杉本三郎、青木周子、増田美智子、川上健一、内藤善一 (鈴木行薫)

公官庁の許認可申請・権利義務・事実証明の書類作成

西山行政書士事務所

〒460-0002 名古屋市中区丸の内三丁目21番21号 丸の内東桜ビル1004号

TEL: 052-961-6506 FAX: 052-961-6507 URL: http://www.nygs-office.com/ facebook: http://www.facebook.com/nygs.office

うなぎ錦三丁目 い ば しょう



〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号 TEL <052> 951-1166 番 営業時間 午前 11:00~午後 2:30 午後 4:00~午後 8:00 定休日 日曜日・第二・第三月曜日

寄稿 御嶽山噴火

噴石と強風に死を
意識する

豊田中研

平井 隆行

9月27日、私は御嶽山噴火当日に登山をしており噴火を体験しました。以下、私の体験したことを報告いたします。当日は天候の良い土曜日で、さらに紅葉シーズンであったため多くの登山客が訪れていました。山頂に近づくとつれて、視界も良好になり、紅葉を楽しむことができました。さらに、ライチョウも姿を見せるなど、登山は楽しいものでした。(途中で見かけたライチョウの撮影に時間を使ったため、山頂に近づかなかつたので、結果的に私を救うこととなる)

9合目の山荘(石室山荘)を過ぎて、少し登ったところで腰を下ろして休憩をしていた時、隣の山裏から煙が上がっているのを見つけました。(爆発の音などは聞こえませんでした)始めは異常であるとは思わず、周りの登山客と同様に噴煙の写真を撮っていました。登山客の中には降りた方がいいのではないかと、相談する人もおりましたが、煙の動きも遅く見えなかったので、焦る人はおりませんでした。

煙を発見し、写真を撮っている様子を見て、山荘(覚明堂?)の方が「写真撮っている暇なんてないぞ!逃げろ!ガスにやられるぞ!」と叫びました。その声が聞こえた登山者は、一斉に下山を開始しましたが、声が聞こえなかった登山者は、依然として写真を撮るために立ち止り、登り続けた方もいらつしやいました。私は「降りた方がいいみたいですよ」と声を掛けながら、引き続き上り続ける多くの登山者とすれ違い、全力で下山しました。その間、噴煙は瞬く間に上空に広がり、こちらに向かっていることがわかりました。

石室山荘を通り過ぎ、しばらくくしたところで、あたりはどんどん暗くなり、雨が降り出すようにぼつぼつと噴石が降ってきました。次第に、噴石の勢いは増していき、風を伴って火山灰と噴石が体を打ち付けました。山荘に戻るか、下山を続けるかの判断に迷いましたが、山荘まで戻るために20分以上要する位置まですでに下山していること、火山ガスから逃げるためには、できるだけガス源から離れた方が有利だと考えたことから、できる限り下を目指すことを選択しました。噴石で多くの方が亡くなった今回の災害で、この判断が正しかったかどうか

かはわかりません。そのような判断を行っていた間、噴石と風は勢いを増し、ついには辺りが一切見えなほど真っ暗となり、噴石と強風が襲いました。その暗さは数センチ先も見えないほどでした。この間に40℃程の温風と硫化水素の匂いを感じました。最も死を意識したのはこの時です。この暗闇と風がいつまで続くのか、事態が好転するのかわからず、天命に身を任せるのみでした。

暗闇がどの程度続いたのかは、はっきりと覚えていません。周りがうつつすら見え始めてから、ロープをつたって、少しずつ下山を始めました。しかし、視界が数十メートルであること、雷が鳴っていることを考えて、下山をするには不適と判断し、岩陰に身をひそめました。

雷が収まったところで、ようやく下山する別の登山者の姿を確認することができ、私も下山を開始しました。山道を見ると、岩の凹凸が分からないほどに火山灰が降り積もっていました。火山灰が降り積もった山道は、足場を選ぶ必要が無いため、テンポよく下山することができました。しかし、依然として細かい灰は降り続け、湿り気を持った火山灰が、靴の裏に付くため、非常に重く

なりました。ぬかるんだ部分には非常に滑りやすく、何度か転倒しかけました。8合目を過ぎたあたりで、ようやく命の危険が無くなったと確信できました。

最後に私が生還することができたポイントと反省点を整理してみます。

- ①とにかく下に向かって、全力で下山したこと↓ガスの濃度が低くなり、噴石のサイズも小さくなったと思います。
- ②登頂することへのモチベーションが低かったこと↓逃げるのを聴いて、素早く下山することができました。

「反省点」①安全な山だと思

い、登山届を出していない。

②素人だけで登山をしたため、普段よりきつい硫黄臭や、噴煙に対して、異常の判断ができなかった。

③煙の動きがゆっくりに見えた(実際はとても速い)ため、危機感が足りなかった。

④噴石に対する知識が無く、山荘に避難し、待機するという判断ができなかった。

安心して選べる三河地区のプロショップ

JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13
TEL0566(23)8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!



CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設

クライム

http://climbing-park.com ☎0532-26-3737

MONTANA 住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地

モンタニア

住所 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 http://www.montania.jp

気象庁噴火速報 8月上旬に開始

気象庁は、火山の噴火直後に登山者らへ情報を伝えるため新たに設ける「噴火速報」について、8月上旬から運用を開始する方針を明らかにした。噴火から数分以内に発表するとし、伝達手段は自治体の防災無線やラジオなどを候補に検討を進めている。五段階ある噴火警戒レベルの1は「平常」としている説明を変更する。

昨年九月に発生した御嶽山（長野、岐阜県）の噴火では、火山活動の状況が登山者らへ十分に伝わっていなかった問題点が浮上。火山噴火予知連絡会が速報制度などの創設を求めた。

噴火警戒レベルで最も低い1は「活火山であることに留意」に変更する。警戒レベルが運用されていない火山を対象にする噴火予報の「平常」も同様に変える。

気象庁によると、全国には百十の活火山があり、このうち二十四時間態勢で観測している常時監視は四十七火山。警戒レベルを運用しているのは常時監視火山のうち三十火山（三十一地点）で、レベル1は富士山（山梨、静岡県）、雲仙岳（長崎県）など二十一地点となっている。レベル2（火口周辺規制）

は吾妻山（山形、福島県）や箱根山（神奈川県）など七地点。レベル3（入山規制）は昨年九月の噴火後に1から引き上げられた御嶽山（長野、岐阜県）など三地点。レベル4（避難準備）と5（避難）はない。（中日新聞）
※現在の御嶽山の噴火警戒レベルは2



編集後記

■今年に入っても地震や噴火災害が目立つ。特に山岳地帯ではネパールやボルネオ島・キナバル山、どちらも日本人の多くが山に登りに行く地である。国内では箱根山や浅間山、阿蘇山など指摘される山が多い。心しておきたい。

■七月に気象遭難対策講習会が行われた。一般からも募集している講習会だが参加者が少ない。遭難事故の多くの基因は気象条件であることを認識してほしい。

■指導員資格を持つ意義はなんだらう。身に付けていれば御利益があるわけでもあるまい。他人に教えることで生きているものだ。近頃どんどん新しい指導法が増えています。（N）

常任理事会

7月7日(火) OMCビル

- 1. 報告事項 (中平等顧問)
- 2. 自然保護委員会 (6/9 県スポ) 鈴木
- 3. 日山協指導員研修会・委員総会 (6/13~14東京) 木田
- 4. 第1回気象講習会 (6/14県スポ) 岩狭
- 5. 第1回理事会 (6/16県スポ) 北村
- 6. 岳連確保技術講習会・検定会 (6/20~21鞍ヶ池公園) 木田、高木
- 7. 日山協指導・遭対合同研修会 (6/20~21熱海) 北村
- 8. 指導員総会 (6/23県スポ) 木田
- 9. 遭難対策研修会兼委員総会 (6/27~28関西大学)
- 10. 全国山岳遭難対策協議会 (7/2東京) 高橋
- 11. 高体連・レスキュー講習会 (7/5やまびこの丘)
- 12. 夏山フェスタについて
- 13. 審議・お知らせ事項
- 14. 気象遭難対策講習会 (7/18県スポ) 岩瀬
- 15. 東海ブロック大会 (7/2)

- 16. 第1回Jrクライミング講習会 (7/22) 第2回Jrクライミング講習会 (7/23)
- 17. 高体連夏期大会 (8/17)
- 18. 親民の森、海老沢
- 19. 親子ふれあい登山教室 (少年少女登山教室) 8/23 鈴鹿山系・関谷
- 20. 県民登山説明会 (9/8 県スポ)
- 21. 中高年安全登山指導者講習会東部地区 (9/11~13東京) 北村
- 22. 山岳レスキュー講習会西部地区 (9/11~13立山)
- 23. 日山協自然保護委員総会 (9/12~13福島) 鈴木
- 24. 第1回Jrクライミング記録会 (9/26キューブ)
- 25. 第2回登山勉強会 (10/8 東三・9/30県スポ)
- 26. 全日本登山大会 (10/9)
- 27. 11宮城県栗駒山) 樺山
- 28. 岳連救助技術講習会 (10/10~11鞍ヶ池公園) 木田
- 29. 高体連秋期登山講習会 (10/24~25釈迦ヶ岳) 岩狭
- 30. 海外登山懇談会 (11/5 東京)
- 31. 高体連新人大会 (11/7~8釈迦ヶ岳) 関谷
- 32. 日山協第3回理事会 (11/8東京) 北村
- 33. 日山協登攀技術研修会 (11/21~22神奈川) 木田
- 34. その他

月日	内容
9. 1	常任理事会 (OMCビル)
9. 6	第2回気象講習会 (豊川高校)
9. 8	県民登山説明会 (県スポーツ会館)
9.26	県民登山教室 (猿投山)
9.30	第2回登山勉強会 (県スポーツ会館)
10. 6	常任理事会 (OMCビル)
10. 8	第2回登山勉強会 (東三)
10.10~11	救助技術講習会・検定会 (鞍ヶ池)
10.17	県民登山教室 (鈴鹿朝明溪谷周辺)
10.20	第3回理事会 (県スポーツ会館)
10.24~25	鈴鹿山系連絡協議会

◆9・10月スケジュール

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツア サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社
 まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
 個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211
 〒450-0002 名古屋市市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階
 FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com
 ホームページ <http://www.alpine-tour.com>